
最強な男と最強にあこがれる男

FIAIN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最強な男と最強にあこがれる男

【NZコード】

N2315W

【作者名】

FIAIN

【あらすじ】

渚鳳仙高校一年・山井喜太郎は強くなるために学校中の格闘技部に仮入部するものの、体験入学にもついていけず開始20分で追い出されてしまうほどのヒヨワでもやしつ子で弱かった。

この話のオリジナル主人公の闇曲竜鬼は、頭脳明晰・スポーツ万能でイケメンの完璧人間だが今だ学校で信頼できる人が山井しかいなかつたので、山井と同じ部活に入ろうと思っていた。

仮入部最終日、二人は猛者ぞろいと噂の総合格闘技部「タランテラ」を訪ねる。だが、超激強な美少女部員たちに痴漢と間違われ大

ピンチ!?

第零、五話 物語の起點（前書き）

持っていた漫画で一次元小説を書いてみたいと思って、つい勢いで書いて見ました。

細かい表現がかけてないかもしれませんが許してください

山井 side

10年前、俺はいじめられっこで毎日ジャイアンとすね夫みたい
な奴にいじめられていたのだ。

ところがある日、ある人物がいじめっ子をとつちめて俺を助けて
くれたのだ。

それから少しの間だつたけど色々キタエてもうつたんだよー。
それから少しして

「ししょー、ししょー。」

俺は今、駅で電車に乗つて離れていく【ししょー】を走つて追いかけている。

【ししょー】はある日、この町から出て行くと言つて俺は別れを告げられたのだ。

「ししょー、絶対に帰つて来てね。」

と、俺は走りながらも大声で叫んだ。

窓から顔を出している【ししょー】は向も言わば、にっこり微笑
んでいるように見えた。

「それまでに・・俺

絶対・・・強くなるから――――――――――――

これがこの話の原点となる物語である。

第零、五話 物語の起始（後書き）

戦闘シーンがあるのですが、うまく書けるか心配です。（泣

第一話 朝の出来事

～～山井 side～～

俺は・・・山井喜太郎 15歳です。

あの日から・・・10年の月日が流れ高校生になりました。

そう・・・高校に入つてからというもの・・・くる日もくる日も

格闘技クラブの活動にあけくれ・・・

そんなこんなで俺の体は

誰もがうらやむ鋼の肉体にキタえ上がっている・・・！

・・・はず・・・だつたのですが・・・
実は、まだクラブにすら入つてません。

4月後半なのに・・・なぜ・・・こんなコトに・・・

昨日行つた・・・ボクシング部でも・・・

パンチングボールや縄跳びすら出来ず

体験入部にすらついていけず開始20分でクビにされ・・・

柔道部では・・・胴着の重みに耐えれず壁に激突

空手部も・・・板1枚も割ることが出来ず

レスリング部も・拳法部も・テコンドー部も・・・

みーーんな追い出されてしまった・・・

「どーせ俺はヒヨクでもやしつ子で弱いですよ――だ――
だからつて追い出さなくとも・・・」

ああ・・強くなりたい。

そしてシショーとの約束を・・・

そう思つてみると学校の予鈴が鳴り響いた。
今は、学校に行く途中急がなくてはなりません。

とにかく今日はラストチャンスの日・・・！
気合を入れながら学校に向かうために急ぎ足で橋を渡つて いる途中
橋の手すり部分から【カンカン】とリズム良い音がどんどん近づ
いてきました。

ふと、横を見てみますと

橋の下は、川なのです。

「おー、お前！ 何やつてるんだ！ 危ないぞっ。」

【パンツ】

そして俺は、空を飛んで川に落ちていった。

「アーヴィング」

語が分からぬし俺は上から

あーーー、バスーバナヌホーーー」と、
ヒーヒー氣樂をひな声が聞こえた。

「……だつ、大丈夫じやねー」

ない
・
か

「あんたが急に手つかむもんだから——一つ反射的に投げちゃった。」

しゃがんでこちらに謝罪?している先ほどの美少女の姿があつた。
こちらが下にいるためしゃがんでいる美少女のスカートの中が丸見えであつた。

「？ どうしたの？ 頭でもうつた？」

美少女はまだスカートのことに気がついていないので

「いや・・・その・・・」

俺は、照れくさそうにスカートを指差した。

やつと美少女は気が付いたのか

「キヤアアアアアアアア

バ・・バカッ！ どこ見てんのよ！！」

と悲鳴をあげながら橋欄干部分を破壊してそれを俺に投げてきたのだ。

それが俺の頭に直撃してそのまま倒れて川の上で大の字で浮かんでいた。

美少女は怒ったまま学校に向かって行つた。

もちろん、俺は遅刻だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2315w/>

最強な男と最強にあこがれる男

2011年10月9日15時04分発行